

研究班番号【56】

## 外国人差別解決への架け橋

### ～コリアタウンでの調査を添えて～

英語班：宮崎 龍也 小湊 柚月 柴田 伶斗 村下 滉太 山尾 凜

#### 要約

本研究では、日本国内の差別はあまり起こっていないのではないかと考え、そのことを立証するためにコリアタウンでのアンケートや先行資料・参考文献での調査、研究を行った。調査の結果、コリアタウンのような特殊な環境では差別が少ないことがわかるが、まだ日本では差別が根付いているという結論が出た。

#### Abstract

The purpose of this study is to investigate the prevalence of that we thought that discrimination in Japan did not occur so much. We administered a questionnaire, read prior materials and references in the Koreatown area of Osaka city near Tsuruhashi to prove it. The result of the survey found, that discrimination occurs less off a special environment such as Koreatown. We also conclude that discrimination toward non-Japanese foreigners still occurs rooted in Japan.

#### 1. 序論

6月にアメリカで黒人男性が銃撃される事件が起き、大きな衝撃をうけた。そのことから「差別」がなぜ起きるのか、日本国内においてのさまざまな差別について関心を持った。また、一つの差別を解決することによって、他の差別(部落差別、ジェンダー差別など)の解決の架け橋となると考えた。そこで、本研究では仮説をもとに、差別を受けた経験があるかどうかをコリアタウンで聞き込み、在日外国人の労働・生活に関する先行研究や資料を使って、在日外国人の差別について考察・研究した。

#### 2. 研究手法

生野コリアタウンに赴き、聞き込み調査を行った。一つ目に「日本で大変だった経験はありましたか」、二つ目は「日本人と外国人と一緒に暮らしていく中で、どのようにすればお互いがよりよい環境で暮らしていくと思いますか。」という質問を投げかけた。また、新聞記事やWebの記事、先行研究で、「外国人であることを理由に受けた差別、及び外国人差別がどの場面で起こったか」という日本においての外国人差別の実態を調査した。

### 3. 結果

アンケート調査の結果より、生野コリアタウンの3人に話を聞いたところ、あまり差別そのものが多くあったとは言えない。しかしながら、毎日新聞の記事の資料より、約3割の在日外国人が差別的な経験を受けたことがわかる。また、外国人というだけで、入居や就職を断られたりするなどの被害を受けている経験がある。



毎日新聞 (2017) 「国内居住外国人差別発言「受けた」3割…法務省調査」.

会員限定有料記事 3月31日

### 4. 考察

差別の多い少ないというのは、世代や地域によって差があるということがわかった。しかし、これはコリアタウンという、周りに同じ境遇の人がいるから、あまり少ないという結果になっているといえる。実際に、ある外国人は、住居や就職で不利になるという実態にある。だから、私たちは身近にこのような実態が起こっていることを知り、自分の周りが被害を受けたときにすぐに対処できるようにしなければならぬと考えた。

### 5. 結論

時代や環境によって差別に対する意識や行動が違ってくるのがわかり、「あまり日本では差別が起こってない」という仮説を立証することができなかったが、大切な人が差別を受けているかもしれないという悩みをかかえているときに、差別について調べて、自分自身から防いでいくという点では、この研究はよい架け橋になったと思う。

### 6. 参考文献

毎日新聞 (2017) 「国内居住外国人差別発言「受けた」3割…法務省調査」. 会員限定有料記事 3月31日

BUZZFEED NEWS (2017) 「中国人の女性が心を痛めた言葉 日本で起きている差別のリアル」

<https://www.buzzfeed.com/jp/sumirekotomita/discrimination-towards-foreigner>